

みんなどころでも安全なまちづくり

秩父市では、世界基準の安全・安心なまちづくりを進める都市として、セーフコミュニティの取り組みを推進しています。セーフコミュニティとは、「事故やケガは偶然起こるのではなく、予防することができる」という理念に基づき、根拠となるデータを検証しながら、市民の皆さんとさまざまな団体が協働して予防対策を行う安全・安心なまちづくりです。当市では7つの分野ごとにデータの分析、取り組みを実施しており、今回は自然の中での安全対策委員会の取り組みについてご紹介いたします。

自然の中での安全対策委員会では、次の取り組みを推進しています。

警察の山岳遭難データを見ると、秩父市では毎年多くの山岳遭難が発生しており、死亡する事故も起こっています。このことから、登山中の事故を防止するため、登山届の重要性を啓発し、登山の危険性や装備・携行品等について注意を促すキャンペーンを実施し、駅前や登山道の入り口においてパンフレットを配布しています。



安全登山の啓発キャンペーン

また、登山道の整備として、遭難件数の多かった秩父御岳山の迷いやすい箇所、案内板や簡易標識を設置し、環境整備を行ってまいります。



秩父御岳山に設置した案内板

次に、救急搬送データのうち、自然の中での外傷を見ると、農林作業中における事故の発生も多くなっていることから、農林作業中の事故を防止するため、今まで遠方まで行かないと参加できなかった安全講習会を市内で開催し、農林従事者が講習会

に参加しやすい環境づくりを行ってまいります。



安全講習会
(秩父みどりヶ丘工業団地地区センター)

また、チェーンソーなどの機具を安全に使用するための実技講習会を開催しています。



チェーンソー講習会

そして、草刈り機の安全な使用方法についての啓発チラシを町会を通じて回覧したり、ホームセンターに置いて、趣味で農作業をする人、町会でボランティア作業をする人へ安全使用の周知を行っています。



啓発チラシ

最後に、救急搬送データで農林作業中と同様に事故の多かったサイクリング中の事故を防止するため、自転車のパンク修理キットや空気入れなどを配備した「安全ポイント」を設置し周知するとともに、今後サイクリングマップを活用し、危険箇所を記載してサイクリストに注意喚起を行います。



安全ポイント (秩父観光情報館)

自然の中での安全対策委員会では、安全で安心な住みよいまちづくりを目標に、引き続き、さまざまな取り組みを行ってまいります。

問 危機管理課 ☎22-2206